

東京メトロ有楽町線の分岐線新設（豊洲駅～住吉駅）と豊洲駅改良

- 東京メトロ有楽町線を豊洲駅で分岐し、住吉駅に至る区間を地下式で延伸することで、東京における地下鉄ネットワークの更なる充実を図るとともに、東京メトロ東西線等の混雑緩和や、鉄道空白地帯の解消等が期待される。
- 延伸工事と同時に豊洲駅の改良工事を行い、ホームを1面増設するとともに、エレベーター等の昇降設備を新設する。

事業の内容

東京メトロ有楽町線の分岐線新設と豊洲駅改良

区間	東京メトロ有楽町線 豊洲駅～住吉駅
計画区間	約5.2km
設置駅	中間3駅（枝川駅、東陽町駅、千石駅） ※駅名は仮称
整備手法	上下一体方式
事業の実施主体	東京地下鉄株式会社（第一種鉄道事業者）
輸送需要	約30.3万人／日
開業目標	2030年代半ば

【計画路線図】

出典:「地域公共交通利便増進実施計画（東京メトロ有楽町線の分岐線（豊洲～住吉）」の図を加工 / 駅名は仮称



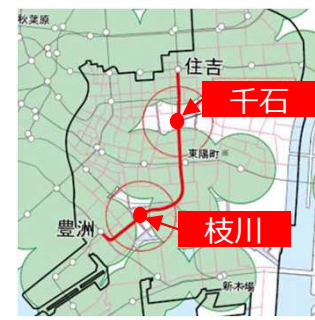
事業の効果

- ・周辺鉄道路線（東京メトロ東西線）の混雑緩和、リダンダンシーの確保※
- ・鉄道空白地帯の解消
- ・豊洲駅の混雑緩和

区間	開業前	開業後	時間短縮効果
豊洲～住吉	約20分	約9分	約11分

※ 運転休止や遅延などのトラブルが発生した場合でも、これを補完する移動ルートとして利用が期待される。

【鉄道空白地帯の解消】



- ・左図の「白色」エリアは既存駅から徒歩10分以上(800m以上)
- ・新設予定の千石駅、枝川駅周辺が該当